

久米島町立学校等適正規模・適正配置検討状況

本町の児童・生徒数は年々減少しており、今後も減少が見込まれることから、国の基準や手引きの内容を考慮するとともに、本町の実情を鑑み、協議してまいりました。

教育委員会では、児童・生徒数の減少が将来的な教育格差をはじめ、教育環境への様々な課題が生じる懸念があることから、学校規模の面から、将来に向けた望ましい教育環境の整備を図る上での基本的な考え方を示す基本方針を令和8年4月に策定しました。

適正規模・適正配置の基本方針

※詳細は町ホームページ「久米島町立学校等適正規模・適正配置検討状況」をご覧ください。

① 一定規模の児童生徒集団の確保による教育環境の充実について

児童・生徒数の減少により、小学校において複式学級が恒常的に発生している現状や、小中学校での単学級は、学習環境や教育効果の面で課題がある。

教育委員会では、複式学級の解消を基本とし、同学年複数学級の確保を目指して一定規模の児童生徒集団を形成することが重要であると考えている。

これにより、児童生徒が集団の中で多様な考え方や価値観に触れ協働的な学びや、社会性・豊かな人間性を育むことや、教職員定数増による、学習指導の充実、校務分掌の効率化、中学校免許外教科指導の解消、特別支援学級数の適正化等が図られ、より質の高い教育環境の実現につながると考えられる。

② 自然災害に強く、安心・安全な学校づくりについて

地震・津波、豪雨による土砂災害等の自然災害などが想定される中、子どもたちの生命と安全を最優先に考えた学校配置が求められる。

久米島町教育委員会は、以下内容を踏まえ、将来にわたって安全で安心して学ぶことのできる学校施設を整備することは、極めて重要かつ妥当であると考えている。

- ・土砂災害警戒区域や津波浸水想定区域の懸念が少ない場所、高潮浸水へ配慮した施設配置
- ・老朽化が進行している既存校舎への対応



③ 教育環境の改善と将来を見据えた町づくりとの連携について

町立幼稚園・小学校・中学校の適正規模・適正配置は、単なる教育施設の再編にとどまらず、久米島町の将来像を見据えた「町づくり」と一体的に検討されるべきものである。

久米島町教育委員会は、以下に示す内容も含め総合的に判断し、将来にわたり持続可能な教育環境と地域づくりを進める必要があると考える。

- ・生活人口の動向や人の流れを踏まえた配置
- ・幼・小・中学校教育の充実と現状の課題改善
- ・新たな学校整備に伴う建築経費や必要用地の確保
- ・通学に係る交通支援の充実

④ 町立幼稚園の認定こども園への移行について

久米島町教育委員会は町立幼稚園について、幼児教育の充実と子育て支援の強化を図る観点から、「認定こども園」への移行を目指す。保育年数については、地域の実情や諸課題を十分に考慮した上で判断することが望ましい。

また、幼児教育の質の向上や幼稚園と小学校の円滑な連携・接続、「小1ギャップ」の解消といった教育効果の観点から、認定こども園は小学校に隣接または近接した配置とすることが望ましい。

心のこもったお守りありがとうございます

久米島町老人クラブ連合会の渡慶次春子会長らが教育委員会を訪れ、新児童の健康と安全を祈願したお守りの寄贈がありました。

生地は久米島紬を使用し、久米島産の塩入りのお守りとなっています。

宇江城教育長は「心のこもったお守りを寄贈していただき感謝します」とお礼を述べました。



お問い合わせ 教育委員会 ☎985-2287